

もくじ

- ・ あかいくつ

あかいくつ

げんさく： アンデルセンどうわ

イラスト： コトコト

へんしゅう： イエローバードプロジェクト



カレンは、ちちおやと ははおやを はやくに  
びょうきで なくし、おばあさんと ふたりで  
くらしていました。

おばあさんは、カレンを ほんとうに かわいがり、  
よみかきや、さいほうなども おしえてくれました。

やがて、カレンは じゅうごさいの たんじょうびを  
むかえました。

このくにでは じゅうごさいになったら、  
きょうかいへ 行って おいわいの ぎしきをする  
しゅうかんが ありました。

おばあさんが、おいわいの ぎしきで きる  
ふくや くつを かってくれるというので、  
カレンは むねをはずませて、おばあさんと  
いっしょに ばしゃで かいものに 出かけました。

まちで いちばんおおきな くつやの てんないで、  
カレンは ガラスのたなに ならべられた、  
いろとりどりの くつを ながめていました。  
ふと カレンのめに、まっかな エナメルのかつが  
うつりました。

そのくつに、なぜか ふしぎな みりよくを  
かんじた カレンは、おばあさんに たのんで、  
このくつを かってもらいました。



5

にちようびになり、カレンは さっそく  
かったばかりの あかいくつをはいて、  
きょうかいへ むかいました。

きょうかいには、すでに たくさんのひとが  
あつまっていました。

ひとびとは、ばしゃから おりた カレンの、  
あかいくつをみて いいました。

「まあ、きょうかいに あかいくつを  
はいてくるなんて、どうかしてるわ」

「いったい なにを かんがえているのかしら・・・」

カレンは、きょうかいに はいるときは、  
くろいくつで なければ いけないという  
しゅうかんを しりませんでした。

いっしょにいた カレンの おばあさんも、  
めが わるくて、くつのいろを みわけることが  
できなかつたのです。

(みんな わたしの あかいくつを みている。  
どう、すてきでしょう?)

カレンは、じぶんが ひなんのめで  
みられていることに、きづきませんでした。

